

## 激しさ増す国道296号の渋滞

# 八千代バイパスの早期整備を

ふるさと八千代市の発展を願ってやまない茂呂剛県議（1期）は9月県議会で一般質問に立ち、地元の課題を中心に県の施策を質問しました。渋滞が目立つ国道296号を迂回する八千代バイパスでは工事の進捗状況を担当者に関き、早期整備を要望しました。さらに、築後、長い年月が経過して老朽化している交番について、警察機能を十分発揮できるよう交番の建替整備を進めるよう提言しました。茂呂県議の質疑と県当局の答弁を抜粋して紹介します。



登壇し、一般質問を行う茂呂剛県議

### 9月定例県議会一般質問

**茂呂議員** 国道296号の佐倉市上志津入り口交差点から八千代市の勝田台駅周辺では、交差点が連続し、2カ所の主要渋滞箇所があるなど、物流の大型車が行き交う中で、通学路にもかかわらず慢性的な交通渋滞が発生しており、周辺の更なる市街化とともに、近年一層激しさを増してきているように感じる。

この渋滞は物流面の損失のみならず、地域に暮らす人々の通学、通勤など安全で安心な日常生活にも大きな障害となっている。こうしたことから、八千代市域の交通の分散化を図り、円滑な交通を確保するためには、国道296号八千代バイパスの一日も早い整備が期待されている。

そこであらうが、国道296号八千代バイパスの進捗状況はどうか。

**県土整備部長** 八千代バイパスは、国道296号の交通混雑の緩和を図るため、佐倉市と八千代市にまたがる5.2キロメートルをバイパスとして整備するものであり、これまでに、3.7キロメートルを供用しているところだ。

残る八千代市内の1.5キロメートルにおいては、用地取得率が面積ベースで約9割となっており、これまでにまとまった用地が取得できた箇所において、道路改良工事などを実施してきたところだ。

引き続き、八千代市との連携を密にするとともに、地元関係者のご理解とご協力をいただきながら、事業の推進に努めてまいります。

### 都計道八千代西部線の未整備区間

**茂呂議員**（仮称）幕張・千葉ニュータウン線のうち、都市計画道路3・3・27号八千代西部線の未整備区間と、国道16号までの構想区間について、どのように考えているか。

**県土整備部長** 都市計画道路八千代西部線は、八千代市西部地区を南北に縦貫する延長約3.5キロメートルの都市計画道路です。このうち、西八千代北部特定土地地区画整理事業区域内の約1.8キロメートルについては、平成28年4月に都市再生機構により、暫定2車線での整備が完了したところです。



県政の課題を討議した9月県議会

### 八千代市などと検討

**要望**  
茂呂議員 国道296号八千代バイパスの早期整備を要望する。

残る未整備区間については、土地地区画整理事業区域と県道船橋印西線との円滑な交通アクセスを確保するために重要であると考えています。

この区間の整備については、今後、区画整理事業に伴う交通の変化などを見ながら、八千代市など関係機関と検討してまいります。

●県政に関するご相談を気軽にどうぞ

### 茂呂つよし・PROFILE

- 略歴
- 1968年 八千代市に生まれる
  - 1987年 八千代松陰高校卒業
  - 1992年 秀明大学卒業
  - 1992年 イワキ(株)勤務
  - 2006年 八千代市議会議員当選
  - 2010年 八千代市議会議員再選
  - 2014年 第36代八千代市議会副議長
  - 2015年 千葉県議会選挙当選  
環境生活常任委員会委員  
議会運営委員会委員
- 現職
- 県議会 文教常任委員会委員長

茂呂つよし

県議事務所

276-0046 八千代市大和田新田1092-7  
TEL 047-480-0244



# 利根川―東京湾を連結

## 新川経由サイクリング道路

◀県会議場の自席で県執行部に再質問と要望を行う茂呂剛県議

茂呂議員 自転車ブームと言われて久しい。より安全な自転車利用の観点から、自転車道の整備が望まれる。そこだろうかすが、県内の自転車道整備の進捗状況はどうか。

河川堤防を利用した県道佐原我孫子自転車道線や八千代印旛栄自転車道線など、9路線、総延長約307キロメートルの自転車道整備を進めております。平成29年度末までに、このうち約221キロメートルが完了して

ております。今年度は、県道我孫子流山自転車道線約1.3キロメートルで、来年度の供用開始に向けて整備を行っており、9月中旬までに、印西市発作地先の約1キロメートルの工事が完了したところでございます。



**要望** 茂呂議員 私の地元八千代市には、新川沿いに遊歩道があり、この遊歩道は「八千代広域公園」や「道の駅やちよ」を経由し、印旛沼で県の八千代印旛栄自転車道線に接続し、利根川までつながっている。また、隣接する千葉市側では、「花見川サイクリングコース」と接続し、東京湾まで行くことができる。そこでぜひ、この路線

## 東葉高速鉄道収支見通し 資金不足転落の可能性も

茂呂議員 東葉高速鉄道についてうかがう。平成29年度決算を踏まえ、県は、会社の今後の収支見通しについてどのように考えているのか。

**知事** 東葉高速鉄道の平成29年度の決算は、運輸収入の増加などにより、営業上は黒字となっておりますが、一方で、鉄道建設時の長期債務を2600億円抱え、それに係る償還金の支払いが多額であることが、資金面の収支を大きく悪化させています。

今後、毎年の債務の償還金や老朽化に伴う設備投資費の増加により、資金収支は赤字で推移し、保有資金は平成28年度末の281億円から、平成48年度には7億円まで減少する見込みです。

このため、金利動向によっても、早期に資金不足に陥る可能性もあることを自立支援委員会を確認したところであり、会社の収支見通しは非常に厳しいものと認識しています。

茂呂議員 将来の新駅設置による利用者の増加も見据えた快適性の向上や、利用促進策に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

総合企画部長 まず、快

適性の向上については、通勤時間帯の混雑緩和対策として、現在、直通する東京メトロ東西線において、線路やホームの増設等の整備が進められているところですが、東葉高速鉄道においても、お客様の声を反映したダイヤ改正の検討などに取り組んでいるところです。

また、日中や休日の利用促進については、東京メトロと連携した割引きっぷ「東葉東京メトロパス」のほか、沿線施設の入場券等をセットにした割引切符の販売により、利用者増に取り組んでおります。

このため県では、東京オリンピック・パラリンピック会場となる幕張新都心地区で「花壇づくりコンテスト」を開催するなど、消費者へのPRを推進するとともに、意欲ある生産者に対し、国内外のバイヤーとの商談会場となる「国際フラワー＆プランツEXPO」への出展を促すなど、販路開拓に向け支援しております。

## 東京五輪で訪れる人々へ 花でももてなしを

茂呂議員 県産花きの需要拡大をどのように図っていくのか。

花の魅力を積極的にアピールするとともに、新たな販路を開拓していくことが重要であると認識しています。

農林水産部長 消費者に

## 目立つ老朽化交番 37%が築後30年経過

茂呂議員 地域に密着し、長い年月活躍してきた既存の交番の中には、老朽化が著しくなったものが多く見受けられる。私の地元、八千代市においては交番が9カ所設置されているが、そのうち

4カ所の交番が築後30年を超え、老朽化が著しく、時代に応じた建て替えが必要と強く感じている。

警察本部長 8月末現在、県下の交番は、243カ所ございますが、このうち、築後30年を経過した交番は89カ所、全体の約37パーセントでございます。

老朽化が進んだ交番について、今後どのように実施して

いくのか。

警察本部長 老朽化した交番については、「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき、建て替え等を進めていく方針で、本年度は松戸警察署八柱交番ほか2カ所の交番の建替工事、鴨川警察署鴨川駅前交番の改修工事、千葉中央警察署星久喜交番ほか3カ所の建替設計を行うこととしております。

また、ご指摘のありました八千代警察署八千代台駅

前交番につきましては、現在、移転建て替えに向けて、八千代市と協議を進めているところでございます。

今後、安全で安心できる県民生活の確保及び利用者の利便性の向上、また、従事する警察官の勤務環境の改善を図る観点から、老朽・狭隘化した交番につきましましては、関係部局の理解をいた

だきながら、計画的に建て替え等を進めてまいりたいと考えております。

茂呂議員 利用者

**要望** の利便性向上など、整備に当たっては交番機能の充実強化を図っていくことの重要性を理解している。

そこで、今後も地域住民の意見を踏まえ、犯罪抑止効果の高い場所を選定するなど、地域と連携し県民の安心安全の拠点として、警察機能を十分発揮できる交番の建替整備等を進めるよう要望する。

茂呂議員 2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは国内外から多くの方が訪れる。そこで、花を使ったおもてなしの機運を醸成するとともに、県内各産地や生産者等との連携のもと、県産花きのPR・需要拡大がしっかりとできるよう、十分な予算の確保について特段の配慮をしていただくよう要望する。